

平成25年度 事業計画

1. 全国の「おもちゃの図書館」活動に対する助成事業

(1) 目的

- ①本事業は、ボランティアの人々によって運営されている全国の「おもちゃの図書館」活動を支援するもので、本財団の主要な事業である。
- ②現在、全国で約500カ所の「おもちゃの図書館」が活動しているが、これら「おもちゃの図書館」の活動が円滑に運営出来るように、おもちゃやおもちゃの収納箱等を購入するのに必要な資金について助成する。
- ③この「助成事業」は、平成18年度の申込から 従来の申請方式：A申請（事前リストアップ方式）に加え、より広範囲に活用する為に 助成金を一律5万円とする申請方式：B申請（事後報告方式）を新設して実施している。

(2) 平成25年度 助成事業の計画と 過去の助成実績

①平成25年度の助成計画：A・B申請合わせて80カ所、7,000千円

②平成24年度（前年度）の申込み件数と助成実績

<助成件数>

(A申請) 申込み・25カ所 → 助成実績・23カ所

(B申請) 申込み・42カ所 → 助成実績・38カ所

(合計) 申込み・67カ所 → 助成実績・61カ所

<助成金額>

(A申請) 申込み・5,648千円 → 助成実績・4,438千円

(B申請) 申込み・2,100千円 → 助成実績・1,900千円

(合計) 申込み・7,748千円 → 助成実績・6,338千円

③累計の助成実績（昭和60年度～平成24年度）

<助成カ所・総数> 1,743カ所

<助成金・総額> 184,726千円

2. 山科直治記念レジャー活動支援事業

(1) 目的

- ①本事業は、おもちゃの図書館活動が25年余の歴史を刻み、それとともに障害のある子ども達が成長したことに伴い、これら障害のある子ども達やその親達の活動、行動の範囲を「おもちゃの図書館」内に止めるのではなく、更に社会や地域に拡大することを志向してきていることを踏まえ、「山科直治記念レジャー活動支援事業」として、全国の「おもちゃの図書館」がレジャー活動等を行うための経費の一部を支援する。
- ②本事業は、従来「山科直治記念事業」として、障害のある子どもとその親が、地域で「おもちゃの図書館」活動に献身的に貢献していることに対してそれを表彰するとともに家族旅行に招待してきたが、平成15年度より新たにモデル的にレジャー活動等の支援も加え経費の一部を支援することとなった。

③平成15年度よりモデル的に始めたレジャー活動の支援事業は、こちらの事業の方を重視して欲しいとの要望により、「家族支援事業」に替わって、平成16年度から本格的に「レジャー活動支援事業」として行なってきた。

(2) 平成24年度 支援（助成）実績と、平成25年度 計画

①平成24年度 実績

申込件数・30ヶ所	申込金額・2,267千円
助成件数・16ヶ所	助成金額・1,000千円

②平成25年度 計画

助成件数・20ヶ所	助成金額・1,000千円
-----------	--------------

3. 「おもちゃ広場」などイベントの支援や 普及活動の促進事業

(1) 本事業の実施方法

①本事業は、おもちゃ図書館活動の普及促進の為に 実行可能な範囲内で下記(2)項の事業を立案、或いは支援し 普及活動を促進する。

②事業内容により、「山科直治記念レジャー活動支援事業」と併用して実施する。

(2) 本事業の種類

①障害のある子どもたちを、こどもの城などの施設・会場に招待するイベント

②災害被災地等への「おもちゃの広場」の開催支援

③写真パネル展示等による おもちゃの図書館活動の紹介、
新しいおもちゃの紹介、募金活動 等

④各地の研修会、催し会場等での「おもちゃの広場」開設に対する支援

⑤「おもちゃの図書館・チャリティコンサート」の支援

⑥永年に亘り活動している全国の「おもちゃの図書館」を表彰

又、前年度に続き 本年度の「東京おもちゃショー2013」（平成25年6月13日～6月16日）が開催の際、主催団体である「日本玩具協会」より展示ブース（1小間）の支援提供を受け「おもちゃの図書館全国連絡会」と協働して会場に「移動・おもちゃの図書館」を開設する。

平成25年度から出展参加費は10万円（通常の1/2）となる。

4. 「おもちゃの図書館全国連絡会」（以下、「全国連絡会」）に対する助成事業

(1) 「全国連絡会」と共催の「東京おもちゃショー2013」出展への助成

①本年度開催する「東京おもちゃショー2013」（前述）に合わせて開催する「移動・おもちゃの図書館」のために必要な費用を支援する。

(2) 「全国連絡会」主催の「全国世話人会」への助成(新規)

①当財団と「全国連絡会」との情報・連携を密にする為、全国連絡会が毎年1回主催する「全国世話人会」に必要な費用を支援する。(H24年度より実施中)

②従来、「全国連絡会」が主催していた「ミニ学習会」への支援は、当財団の事業見直しの一環として本年度より中止する。

(3) 国際活動の支援

- ①今年度開催する「第4回 おもちゃの図書館アジア会議・東京大会」(H25年6月13日～15日)に、「全国連絡会」と協催して参加しその費用の一部を助成する。
- (4)「全国連絡会」事務局の活動助成
 - ①「全国連絡会」の事務局活動に必要な経費や費用の一部を助成する。
 - ②「財団助成事業」、「山科直治記念レジャー活動支援事業」「おもちゃ広場」等の実施に際し、全国の申請団体から当財団への照会等に対し、「全国連絡会」がそれらの対応や審査データ整理など、当該事業の効率的な実施について協力願うことを考慮しその活動経費の支援を行う。

5. 「ふれあいコーナー」の充実

当財団に設置している「ふれあいコーナー」をより充実させるため、障害児に適するようなおもちゃを購入・展示し、おもちゃの選定等の相談や必要に応じては貸し出しを行なう。